

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 8 月 24 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。結局、先週の動きは、本格下落トレンドに入ることが出来ず、終値が -1σ ラインの上方で引けた時点で、レンジ相場に押し戻された格好と読める。目先、レンジトレーディングを行ったり、相場の放れの際にトレンドに乗りたい場面。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯する中、逆行パターンの買いサインが点灯している点、注目したい。逆行パターンの買いサイン点灯時の一旦の最終ターゲットは、 $+2\sigma$ ラインになる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が $+1\sigma$ ラインの下方で引けており、調整のドル反落局面と読めるが、同時に、センターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読めることから、目先、方向感に欠ける展開と読む。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面継続中、レンジ相場の地合い強まる

○遅行スパン＝陰転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、目先、 $+2\sigma$ ラインと -1σ ラインの間でのレンジ相場とも読む。尚、遅行スパンがローソク足に接近中であり、ローソク足が遅行スパンの上昇を抑えることから、上値が次第に重くなることも頭に入れておきたい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

赤色スパンが下向きに変化して以降、終値が -2σ ラインの上方で引けており、逆行パターンの買いサイン点灯継続中。加えて、売りシグナル点灯時の猶予期間の安値を、再度、上方にブレイクしており、逆行パターンの買いサインが再点灯している点にも注目。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、遅行スパンがローソク足に接近中であり、ローソク足が遅行スパンの上昇を抑えることから、上値が次第に重くなることも頭に入れておきたい場面。

◆スパンモデル

売りシグナル、赤色スパン共に、逆行パターンの買いサインが点灯している点、注視したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+1\sigma$ ラインと -1σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。終値が -2σ ライン以下で引けず、反発している点に注目。

◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値の上方で引けていることから、逆行パターンの買いサインが点灯継続中である点に注目したい。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方で引けるかぎり、調整の反騰局面と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、引き続き、注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝依然として、バンド幅の収束傾向が続き、レンジ相場の地合いを強めていると読め、目先、センターラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断する。

◆スパンモデル

赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが、かろうじて点灯継続中である点に注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯する中、逆行パターンの買いサインが点灯している点、引き続き、注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンドと判断。尚、バンド幅の拡大傾向が止まってきており、トレンド性が薄れてきている点に注目したい。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、終値が -2σ ラインを上回って引けていることから、順行パターンの売りサインから逆行パターンの買いサイン点灯に変化している点、注目したい。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。